

ひだまり

ごあいさつ

今年は、社会福祉法人制度改革に向けて大変忙しい年になりそうです。厚生労働省社会・援護局福祉基盤課から出された留意事項を見ながら、定款の改正、理事の選任、評議員の選出の方法、理事会の運営、評議員会の進行等イメージをしながら準備をしております。また、社会貢献事業をいかに取り組んでいくかも課題です。

私たち既設の社会福祉法人はこの度の改正を真摯に受け止めて生まれ変わって行かなければならないと思っておりますが、新たに社会福祉法人を起こして地域の為に福祉事業をやるという気持ちのある人が理事長の報酬や理事長の選任、事業計画や予算の承認等、評議員会で決定される事になるのであれば、その気持ちがあるのではないかと懸念を持ちました。

これまで、制度を改正しなければならぬほど社会福祉法人は病んでいたのであろうか、社会福祉事業を営んでいるものにとりまして大変残念に思うと同時に、法人監査の仕組みを変えて対応できなかったのかと疑問を感じました。

我が法人は、障がい者の支援に取り組

ませて頂いておりますが、障がいのある方々がこの地域で安心して安全に生活がされていくにはまだまだ福祉資源が足りないと思っておりますし、求められる施設を建設していきたいという気持ちもあるのですが、この制度改革の中から、施設更新の為の積立が認められていくのか不安です。

社会貢献事業につきましては、何をやるのか、地域として何が必要なのか、多気町役場福祉課と協議を進めております。現時点で公表できるものではありませんが、議員様や理事の皆様と協議をしてわが法人の自主事業として地域に貢献していく所存でございます。

最後に、はじめに福祉に取り組んでいくこと、地域の中で必要とされる存在になっていくことが、社会福祉法人として生き残る唯一の道だと信じています。

これからも何かとご指導賜りますようお願い申し上げます。

暑さ厳しき折、くれぐれも御自愛下さい。

聖愛園施設長

聖和福祉会相談センター管理者
戸野 和雄

発行所
聖和福祉会
聖愛園

〒519-2211
三重県多気郡
多気町丹生4701
TEL 0598-49-3115
FAX 0598-49-3783

サニープレイス

〒515-0052
三重県松阪市
山室町2580
TEL 0598-30-5585
FAX 0598-30-5586



去る、二月十四日、聖愛園にて、第五回すしパーティーを開催致しました。握り手に松阪市の「すし正」さんをお招きし、本マグロ、天然ブリ、サーモン、たまごを、また給食委託会社トモさんには、助六、ツナの細まきをご用意いただきました。

この日ばかりは刻み食を召し上がって見える利用者さんも、保護者様に介助頂き、握り寿司を召し上がって頂きました。美味しさ満点・笑顔満点の寿司パーティーになりました。

第5回

寿司パーティー





夏祭り



七月十七日に「第十八回 聖愛園夏祭り」が開催されました。

職員と利用者の皆様が一緒に作成したさわやかな創作物で飾りつけされた会場の中、理事長の開会の挨拶から始まり、毎年恒例の流しおめんの予定でしたが体調不良の方が多かった為、今年は流しお菓子をして楽しんでもらいました。おいしい食事の後は、利用者さんが日頃から練習をされていた創作ダンスとハーモニカ演奏を披露して下さいました。素敵なダンスと演奏で会場は盛り上がっていました。

そして、ボランティアでお越し頂いた「亜熱帯トロピカル楽団」の方々のラテンのリズムでの生演奏に会場は魅了され皆さん楽しませていました。その後、会場セッティングの間には、かき氷が振舞われ、季節を感じて頂きました。終盤にはその熱い会場をお祭り気分にする利用者さんによる神輿行列、全員で踊るソーラン節、最後に毎年お世話になっている「勢和いきいき保存会」の方々のご協力で利用者さん・職員・保護者の皆様が一緒に盆踊りを踊り、大盛り上がりうちに夏祭りが終了しました。

最後になりましたが、夏祭りにご参加、ご協力頂きましたボランティアの皆様、保護者の皆様、本当に有難うございました。

生活支援員 太田 薫



流しお菓子では竹を流れるお菓子を上手にキャッチすると拍手が上がっていました！



ご家族と一緒に身体を動かして楽しんでいる利用者さんもたくさん見えました。



聖愛園では毎回恒例の利用者さんによる新作ダンスの披露や演奏がありました。



今年も亜熱帯トロピカル楽団の皆さんにお越し頂き、盛り上がりました！



防災への取り組み

四月二十一日、熊本地震が発生し、多くの方が被災されました。それを教訓に聖愛園では、六月二十九日に大規模災害を想定した防災訓練を実施しました。最初に二班五人一組で仮設トイレの設置を行いました。その内容は、マンホールを開け、その上に便座を設置し、 TENTを立てて周りをブルーシートで囲うというものです。初めて行う人が多く、不安や慣れさからくる戸惑いもありましたが、五分程度で設置することができました。次に発電機の取扱いを個々に行い、皆うまくエンジンを掛ける事が出来るようになりました。それから防災倉庫の備蓄品の確認をし、最後に炊き出し訓練を実施しました。火をつけるところから始めましたが、一定の火加減を保つことが難しく苦労しました。それでも、失敗することなく四十人分のご飯を炊くことが出来ました。訓練を続けるうちに少しずつ参加者の防災意識が高まり、非常時の対応について学べたように思います。このような訓練をこれからも重ね、利用者様が安心して安全に暮らせる施設づくりを続けて行きたいと思います。

生活支援員 藤原 康雄



新職員あいさつ

二月一日より入社し、現在約半年となります。障がい者の方の入所施設での初めての勤務ということもあり、まだ慣れない所もあり、ご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、先輩職員の方々が優しく丁寧に指導して下さい、勉強させて頂いています。私自身、福祉の大学を卒業してから福祉営業家の仕事に就き約七年経ちますが、日々学習と挑戦です。

利用者様のニーズに出来るだけ対応するには、どうしたらいいか、その方に合った支援は何か等、考えは尽きません。

福も社と共に「幸せ」「幸福」の意味があり英語ではウェルフェアと訳され「良い生活の状態」を意味します。学生の頃、初めて「福祉」という言葉の意味を知った時は、難しくは考えてなかったのですが、経験や学習を続ける中で今改めてとてもこの言葉の意味の深さや難しさを感じています。これからも色々な事を吸収し成長していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

生活支援員 味噌井 美智



あじさい祭り



六月十二日、第二十回 大師の里、彦左衛門のあじさいまつり」に参加しました。

今年からは、聖和福祉会として保護者の皆様の協力のもと聖愛園とサニープレイス共同でブースを持つことになりました。聖愛園はかき氷、フランクフルト、ジュースを、サニープレイスは利用者さんが作った動物箸置きと動物マグネットを、保護者の皆様はさんま寿司、天巻き等を販売しました。

当日は、生憎のお天気でしたがかき氷には行列が出来、フランクフルトは完売になる程の大盛況でした。

聖愛園の利用者さんも遊びに来て下さり、きれいな紫陽花を見た後で、かき氷やフランクフルトを食べて頂きました。

あじさいまつりに参加して、地域の方々と交流が出来ましたことを職員全員が嬉しく思っています。ご協力いただいた皆様、本当に有難うございました。

生活支援員 植村 元紀

新任の挨拶

四月より事務職員としてお世話になっている川口と申します。

新しい福祉の職場で続けていけるのか、不安で一杯な日々の中、三カ月は本当に早く、いつの間にかさまざまな紫陽花を輝かせる梅雨になっていました。

職場の先輩方からの温かい心遣いや励ましを受け、毎日通える居場所が見つかったのかと感謝しています。入社後三週間経った頃、支援員さんや利用者さんの名前も覚えられずに戸惑っていた中、利用者さんから笑顔で挨拶を返して頂き名前も教えて頂きました。その方とはとてもフレンドリーで、私の心の緊張がほぐれてとても嬉しく明るい気持ちになった事が今でも鮮明に思い出されます。当時何もかもが中途半端で足踏み状態の私に、まずは自分が出来る事を少しずつやって行こうと、前向きな気持ちになるきっかけを与えて下さいました。

まだまだ力不足で多くの方に支えられている毎日ですが、早くどんなことでも安心して任せて頂ける存在になり、温かい居心地のいい環境づくりの手助けができる様に努力して行きたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

聖愛園事務員 川口ひとみ



栄養便り

暑さも本番に差し掛かり、各地で熱中症の約9割はエアコンの未使用による室内で発症しています。
今回は熱中症にならない為の対策を紹介します。

【対策①】

- ・シーズンを通して、暑さに負けない体づくり
- ・水分をこまめに摂る
- ・塩分を程よく摂る
- ・睡眠環境の整備
- ・食事と睡眠で体調管理

【対策②】

- ・暑さに対する工夫
- ・気温と湿度の把握

【対策③】

- ・暑さから身を守るアクション
- ・飲み物を持ち歩く
- ・休憩をこまめにとる

熱中症は重症になると全身の臓器機能不全を引き起こす程になります。そうならない為にも、普段から予防対策をしっかり行い利用者さんの生活支援につなげたいと思っています。

栄養士 羽根 めぐみ



聖愛園ではこの夏、ゴーヤのカーテンで見た目も涼しげな暑さ対策をしています。



計画相談支援

平成二十四年四月の制度改正に伴い、障がい福祉サービスを利用する方全員に、サービス等利用計画または障害児支援計画の作成が必要になりました。
昨年、四月一日より聖和福祉会におきましても相談センターを開設し計画相談を行っています。

「計画相談」という言葉を初めて聞く方もみえると思いますがわかりやすく言えば相談支援事業所の相談支援専門員がその人がどこでどんな暮らしがしたいのか、その為に何のサービスをどのように利用するかという事を障害者本人やご家族を交え、サービス事業所とも連携を取りながら一緒に考え、計画を立てサービスを提供する事業所に繋げていく役割を担う事を言います。

私は、相談員としての経験も浅く難しさを感じる事が多いのですが「計画」を通して利用者さんがその人らしい生活を送ることが出来るように支援していきたいと思っています。そのために専門的な知識を拡げ、地域の皆様との出会いを大切に、まずは気軽に相談して頂ける窓口になるよう努力していきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願い致します。

相談支援専門員 藤村 里香



音楽活動



聖愛園では平日の午前に音楽活動を行っています。音楽活動は曜日毎に楽器演奏・歌唱・音楽鑑賞・動き・リラクゼーションと内容を変えて行い、短い時間ではありますが利用者さんたちと楽しく活動しています。楽器演奏や歌唱、動きでは音楽の楽しさ、面白さを感じてもらい、音楽鑑賞やリラクゼーションではリラックスした時間を過ごしてもらえたらと思っています。

またこの時間を利用し、夏祭りのソーラン節やクリスマス会での歌の練習などもししています。これからも音楽を通して、いろんな活動をしていきたいと思っています。

そして、私が介護の道を志し、この聖愛園に勤めてから二年が経ちました。無資格・未経験からのスタートで不安が大きかったことを今でも良く覚えていますが、利用者さんたちの安全で充実した生活のサポートが出来るようにしていきたいと思っています。

生活支援員 九鬼 大亮

医務室便り

ストレスとは、心身に、外側から力が加えられた結果生じる反応の事です。要因は様々ですが、家族の問題・職場の問題・失業などが社会的問題となっています。

ストレスの現れ方として、心理面では、活力の低下、イライラ、不安感等。身体面では、疲労感、不眠、食欲低下、頭痛等。行動面では、お酒や煙草の量が増える、仕事の能率が落ちる、遅刻や早退、休みが増える等です。

また、ストレスが強くなると次のような心の病気になるります。

①心身症：過換気症候群・胃潰瘍・過敏性腸症候群等

②神経症：パニック障害・不安障害・恐怖症等
③うつ病：ストレスから起こる病気の八〇％と言われている。

このようなストレスによる心の病にかからないために、身体だけでなく、心にも筋肉をつけたいものです。尚、ストレス対処法については、次号でお話したいと思います。

看護師 木下明美



御厚情深く御礼申し上げます

自平成二十八年一月八日
至平成二十八年七月十七日

ご芳志ご芳名 (敬称省略)

保護者会

武田スミヨ・中川和子

(他にも匿名で頂戴しております)

物品寄付ご芳名 (敬称省略)

岩城央生・伊藤福美

伊藤英明・森田知恵子

水谷英男・堀内美志子

大谷勲・橋本達幸・神廣かよ

中野智恵子・中川和子

吉田雅之・早崎喜代子

庄司保険事務所

アンサーロックサービス

マルエイ・とみやま医院

(他にも匿名で品物頂戴しております)

機関紙ひだまり第四十四号を発行させていただきました。ご一読いただければ幸いです。宜しければ聖愛園とサニープレイスのブログ☆活動日記☆もご覧下さい。

<http://seiaien.exblog.jp/>
<http://sunmysewa.exblog.jp/>

編集 聖愛園

田所有須

